

## 海外安全対策情報（リトアニア）

### 1 社会・治安情勢

在留邦人や邦人観光客を取り巻く環境は概ね安定しているものの、2014年中、人口10万人あたりの犯罪の発生件数は、日本の約3倍となっており十分な注意が必要です。特に、殺人、強盗、強姦等の凶悪犯罪の発生件数が日本と比較し、非常に多くなっています（殺人は約8倍、強盗は約22倍、強姦は約9倍）。

### 2 一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

リトアニア内務省が発表した2015年第4四半期（10～12月）の犯罪発生件数統計によれば、総件数17,005件（前年同期比-16.6%）となっております。犯罪種別の内容、主要都市別の犯罪件数及び外国人被害者数は以下のとおりです。

犯罪件数

	10～12月	
	件数	前年同期比
総件数	17,005	-16.6%
殺人	59	+34.1%
傷害	62	+6.9%
強姦	63	+46.5%
窃盗	6,094	-21.0%
強盗	401	-13.4%
麻薬犯罪	636	-3.5%
外国人被害事件	75	+5.6%

主要都市別犯罪件数

	10～12月
ビリニュス	4,057
カウナス	2,267
クライペダ	1,118
シャウレイ	789
パネベージス	611
合計	8,842

### 主要都市外国人被害者数

	10～12月
ビリニュス	28
カウナス	19
クライペダ	4
シャウレイ	0
パネベージス	0

### 3 犯罪発生事例等

- (1) 10月18日、ビリニュス市の中心部の交差点において、車両が暴走し、付近のバス停に突入する事故が発生しました。この事故により、バス停にいた7人が負傷、2人が重傷を負いました。
- (2) 11月5日、リトアニアの西部の町において、アルコール中毒者と見られる男が4人の女性宅に強盗に押し入り、4人の女性を殺害する事件が発生しました。
- (3) 11月19日、ビリニュス市において、護送されていた男が警察官からカラシニコフ銃を奪い逃走する事案が発生しました。